



タイ王国に“GNSS 日本パビリオン”を開設

平成30年1月10日、タイ地理情報・宇宙技術開発機関（GISTDA）により設置された「GNSSイノベーションセンター」内に日本の官民の測位衛星利用技術を常設展示する「GNSS日本パビリオン」が開設されました。我が国は、平成27年度よりタイ政府と共同で、高精度測位データ活用に関する実証試験を続けてきました。本年4月からは、準天頂衛星システム「みちびき」運用開始を見据え、高精度測位サービスに関する日タイ協力に関心を有する企業18社をメンバーとする協議会を組織し、GNSSイノベーションセンターの運営支援やタイ王国との共同研究開発をさらに進めていく予定です。



「GNSS日本パビリオン」の開設にあたっては、「みちびき」の測位信号を活用し、スウィット科学技術大臣をはじめとするタイ政府要人に農機の自動走行や建機の自動制御のデモンストレーションを披露しました。タイ王国では今後、我が国同様に少子高齢化の進展が見込まれており、我が国が開発しているこれらの技術による生産性の向上に注目が集まっています。「GNSS日本パビリオン」の開所を契機として、今後ますます高精度測位分野における日本とタイ王国の協力が深化することが見込まれます。



“自動運転”実証実験の状況

【道の駅等を拠点とした自動運転サービス実証実験】

国土交通省では、高齢化が進行する中山間地域において、人流・物流を確保するため、「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの実証実験を実施しています。実験は平成29年9月2日より全国13カ所ですら順次実験を開始しています。

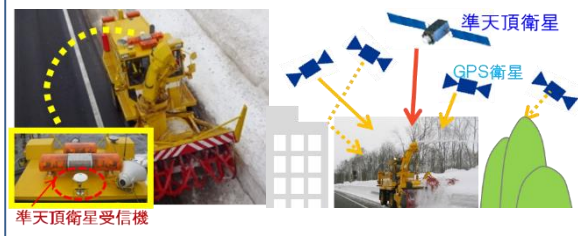
道の駅「ひたちおおた」（茨城県常陸太田市）での実験の様子



【自動運転を視野に入れた除雪車の高度化】

除雪車の自動運転を視野に入れ、運転制御・操作支援の機能を備える高度化された除雪車の開発を段階的に推進しています。（高度化された除雪車を平成30年2月より高速道路、平成30年度に一般道で試行導入予定）

準天頂衛星からの高精度の測位情報と高精度地図情報を組合せ

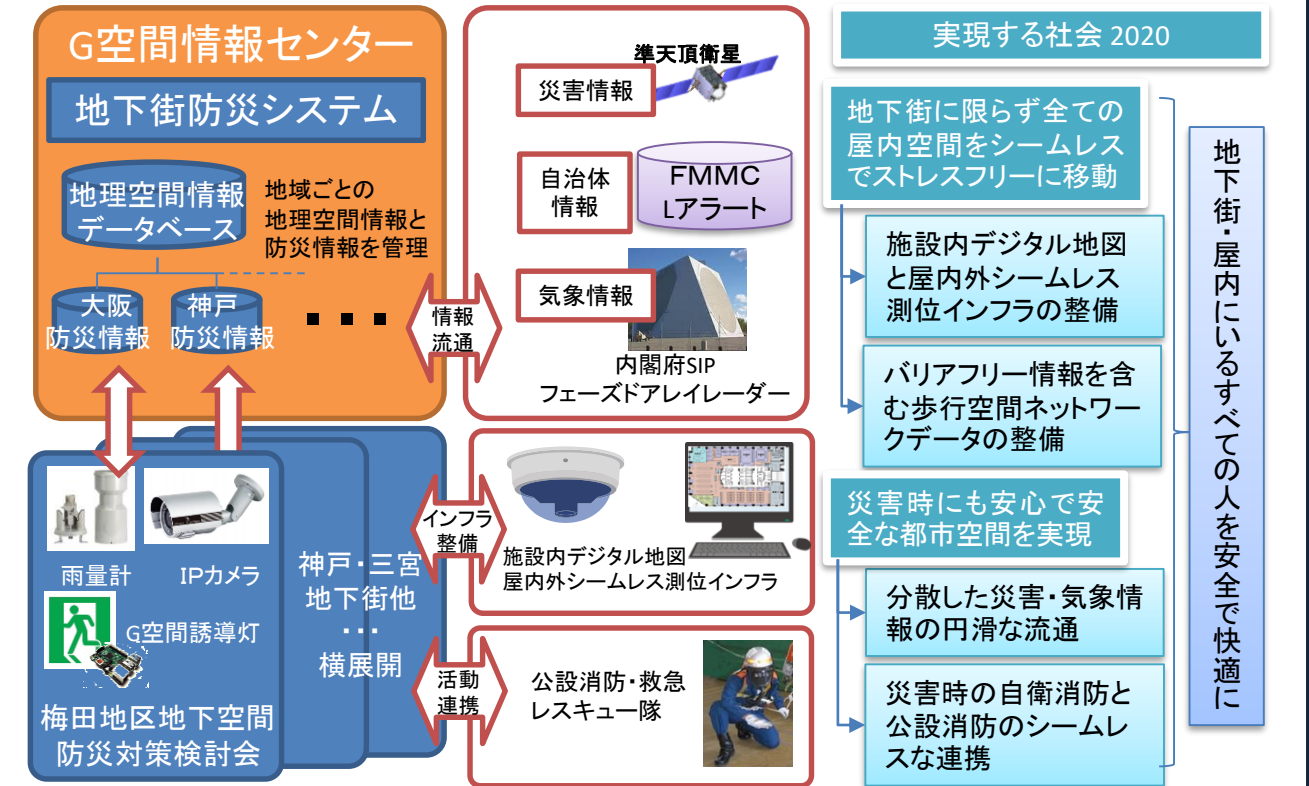


除雪車の通行位置、ガードレール等からの離れ、走行車線へのはみだしやガードレール等への接触を回避するための車体修正角の情報を表示  
⇒オペレーターの運転操作を視覚的にサポート



社会実装事業進捗状況 ～地下街・屋内避難誘導～

防災・減災分野では「迅速な災害対応」、「国土強靱化」、「しなやかな地域づくり」を目指して、「リアルタイム津波浸水・被害推計」、「土砂災害・河川氾濫」（地域防災:第4号掲載済）、「地下街・屋内避難誘導」の3項目の社会実装に取り組んでいます。今回は立命館大学が中心で進めている「地下街・屋内避難誘導」の進捗状況と、社会実装に向けた活動の課題などをご報告します。



【トピック】総務省G空間事業により開発してきた地下街防災システムは既に大阪駅・梅田駅周辺の主要施設事業者が集結する「梅田地区地下空間防災対策検討会」で防災事業(+バリアフリーのナビを含む)を継続運営しています。今年度はシステムをG空間情報センターで稼働させることにより、他地域での事業の横展開が可能になり、来年度は三宮地下街(神戸)へ展開します。

【社会実装に向けた政府への期待】

- (1) 内閣府SIPで構築しているグリラ豪雨レーダー情報をはじめ、L-アラート、J-アラート、V-アラート、準天頂衛星等の分散した災害情報を、全国の施設管理者へ円滑に提供する枠組みが必要です。
- (2) 地下街のみならず主要な鉄道駅に接続する施設など半公共空間の地理空間情報(バリアフリー情報を含む地図、施設情報など)および屋内外シームレス測位インフラの整備が重要な課題です。
- (3) 本事業は地下街等の施設管理者により施設の防災センターを中心として活用されますが、そこに集積された災害情報を迅速に配信して公設消防・救急などと連携するための取組みが重要です。

G空間プロジェクトに関する活動（文部科学省）

文部科学省はG空間プロジェクトに関連して、従来から「技術創出」・「人材育成」などを担ってきました。平成30年度も同様なプログラムを計画しており、公募中です。

公募期間は、2月16日～4月16日の2か月間で、来年度の公募内容としては、人材育成事業を含め以下の3つのプログラムとなっています。

- ▶ 宇宙連携拠点形成プログラム 5,000万円/件、採択件数2件程度
- ▶ 宇宙航空人材育成プログラム 2,000万円/件 採択件数2件程度
- ▶ 宇宙利用技術創出プログラム 2,000万円/件 採択件数2件程度

この委託事業は、競争的資金制度として運用しており、宇宙航空分野の裾野拡大を目的として、人材育成や様々な分野で新たな価値を提供する技術創出に取り組む課題を支援するものとのことです。

詳細は下記をご参照ください。

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/boshu/detail/1401208.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1401208.htm)